

彦根城

築城410年迎える



速報新聞

キマグレ

発行所
彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

彦根城は今年で築城から410年を迎え、3月18日から「国宝・彦根城築城410年祭」が開催されている。そこで今回のキマグレでは彦根城とほかの近世の城との違いに目を向け、彦根城のいくつかのスポットを紹介する。

滋賀県でも安土城をはじめ多くの城跡を見ることができ、かつて日本に存在したといわれている数万の城のほとんどは災害や戦争などによって失われており、一度も再建されずに江戸時代から天守閣

受け継がれる赤鬼魂

本校のモットーの一つである「赤鬼魂」のルーツは彦根藩の藩祖である井伊直政が、猛将で知られた武田の「赤備え」にあやかって甲冑や旗指物を朱色に統一していたことにある。本校では赤鬼魂の精神を「時代に先立って新しい文化を切り開く」、「何事にも屈しないチャレンジ精神」として受け継ぎ、生徒は文武両道に励んでいる。



彦根城天守内の急な階段

が現存している城は12城しかない。その中でも彦根城の価値は多様な面で評価されており、姫路城や松本城と並んで国宝5城に指定されている。彦根城天守内もほとんど当時の姿を残しており、特に天守内の階段はかなり急である。

「国宝・彦根城築城410年祭」は彦根城が築城410年の節目の年を迎え、NHKドラマでも「おんな城主直虎」が放送され、彦根城をはじめとする彦根の町の歴史や文化などを発信するために彦根市が立ち上げた町おこしイベントである。すでにPR動画が公開され、特別展示やさまざまなアーティストとのコラボ企画などが展開される予定である。



除夜の鐘をつく様子



▲時報鐘の鐘の音は城下町一帯に響く。

これは鉄筋コンクリートで長浜城の外観を復元した長浜城歴史博物館がスロープやエレベーターなどバリアフリーで充実している点とは対照的である。

彦根城天守閣近くにある時報鐘は1884年に製造された。時報鐘は一日に5回鐘がつかれ、学校にいても鐘の音を聞くことができる。毎年大晦日には「彦根城で除夜の鐘をつく集い」が行われており、多くの参加者が集まる。

彦根城は本校にとって身近な存在ではあるが、中には登ったことのない人もいるのではないだろうか。天守だけでなく彦根城博物館や玄宮園など、紹介した以外にも一度は訪れてほしいスポットがたくさんある。これらはすべて学生証を見せれば無料で入ることができるので、自分の足で訪れ彦根城の魅力を感じてほしい。